

# 令和2年度実施施策に係る政策評価書

別紙2

(環境省R2-15)

施策名	目標4-3 一般廃棄物対策(排出抑制・リサイクル・適正処理等)					
施策の概要	一般廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理等を推進する。					
達成すべき目標	一般廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理等について施策の総合的かつ計画的な推進を図る。					
施策の予算額・執行額等	区分	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況(百万円)	当初予算(a)	37,034	44,432	42,209	37,715
	補正予算(b)	84,296	104,341	63,297	—	
	繰越し等(c)	▲ 9,895	▲ 32,773	47,164		
	合計(a+b+c)	111,435	116,000	152,670		
執行額(百万円)	92,093	108,607	121,738			
施策に関する内閣の重要政策(施政方針演説等のうち主なもの)	第四次循環型社会形成推進計画 国土強靱化基本計画 廃棄物処理施設整備計画					

測定指標	項目	基準値	実績値					目標値	達成
		H12年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R7年度	
1(1) 一般廃棄物の排出量(百万トン)		55	43	43	43	43	—	38	△
	年度ごとの目標値		—	—	—	—	—		
1(2) 一般廃棄物の排出量(kg/人)		433	338	336	335	336	—	310	△
	年度ごとの目標値		—	—	—	—	—		
2 一般廃棄物のリサイクル率(%)		21	20	20	20	20	—	28	×
	年度ごとの目標値		—	—	—	—	—		
3(1) 一般廃棄物の最終処分量(百万トン)		4.7	4	3.9	3.8	3.8	—	3.2	△
	年度ごとの目標値		—	—	—	—	—		
3(2) 一般廃棄物の最終処分量(kg/人)		36	31	30	30	30	—	25	△
	年度ごとの目標値		—	—	—	—	—		
一般廃棄物焼却炉からのダイオキシン類の排出量(g-TEQ/年)		33	24	22	20	20	—	33	○
	年度ごとの目標値		—	—	—	—	—		

評価結果	目標達成度合いの測定結果	(各行政機関共通区分) ③相当程度進展あり  (判断根拠) 現時点において、一般廃棄物の排出量及び一般廃棄物の最終処分量は、このまま推移すれば目標を達成する見込みである。一般廃棄物焼却炉からのダイオキシン類の排出量は、目標量を達成した。 リサイクル率については、平成7年度の約10%から平成19年度の約20%まで向上したが、以後、ここ数年間横ばい状態が続いており、目標値に到達していない。
	施策の分析	
	次期目標等への反映の方向性	

学識経験を有する者の知見の活用	中央環境審議会循環型社会部会等
-----------------	-----------------

政策評価を行う過程において使用した資料その他の情報	日本の廃棄物処理(令和元年度版)
---------------------------	------------------

担当部局名	環境再生・資源循環局廃棄物適正処理推進課	作成責任者名	名倉良雄(廃棄物適正処理推進課長)	政策評価実施時期	令和3年8月
-------	----------------------	--------	-------------------	----------	--------